

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

身延町教育委員会

文部科学省では、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、調査の結果から見えてくる教育施策の成果と課題を検証して改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるため、例年4月（令和2年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から中止、令和3年度は5月開催）に小学校6年生、中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しております。今年度は4月18日に実施し、身延町では小学校6年生54人、中学校3年生47人が参加しました。

町教育委員会では児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して改善を図っていきます。なお、この調査結果については、国語、算数・数学、英語のみ実施されたもので、全ての学力を測るものではないことをご理解ください。

児童生徒に対する調査

◎教科に関する調査

小学校… 国語、算数

中学校… 国語、数学、英語

小学生（54人）	全国平均と比べて	県平均と比べて
国 語	ほぼ同じ	ほぼ同じ
算 数	ほぼ同じ	ほぼ同じ

中学生（47人）	全国平均と比べて	県平均と比べて
国 語	やや上回る	やや上回る
数 学	やや上回る	やや上回る
英 語	ほぼ同じ	ほぼ同じ

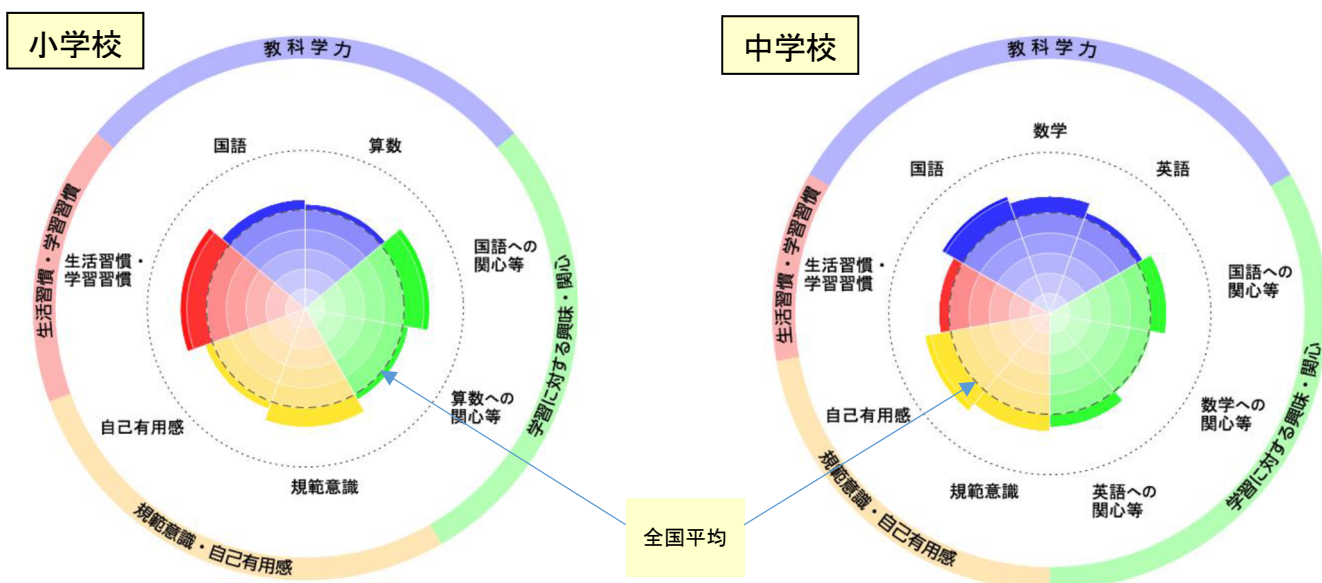
※ほぼ同じ… ±5ポイント未満の違い
※やや上(下)回る… 5ポイント以上の違い
※上(下)回る… 10ポイント以上の違い

身延町の調査結果は、中学校の国語と数学では全国平均・県平均をやや上回っていますが、その他は小学生中学生ともに全国平均・県平均とくらべてほぼ同じという結果となっています。

◎質問紙調査

「朝食を毎日食べていますか?」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか?」「将来の夢や目標をもっていますか?」「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか?」など児童63項目、生徒80項目の設問に回答し、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して児童生徒の様子や意識を測るものです。

回答を総合的にまとめたものが下記の表です。小学校中学校ともにすべての項目において全国平均を上回りました。特に、校則やルールを守るなどの「規範意識・自己有用感」、毎日同じ時刻に寝起きしている、新聞を読んでいるなどといった「生活習慣・学習習慣」が、大幅に全国平均を上回っています。



学校に対する調査

◎質問紙調査

教職員の資質能力向上や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況等に関して、小学校96項目、中学校104項目の設問に学校が回答するものです。

調査結果から見える特徴は、教職員が校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させるなど教職員の資質能力、教育水準の向上に努めています。また、ICT教育を推進するため、タブレット型パソコンや電子黒板等を積極的に活用し、学力の向上を図っています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、通常の生活に戻りつつある中で、保護者や地域の方と学校の美化や登下校の見守りなど、協働による取組等を行い、地域との交流も深めています。

総括

児童生徒の質問紙のうち、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか?」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか?」「今住んでいる地域の行事に参加していますか?」などに関する事柄が全国平均を上回っています。

今年度、小学生は全教科が全国平均・県平均とほぼ同じという結果となっています。今後も基礎学力の定着に向けた取り組みを進めていきます。中学生は英語が全国平均・県平均とくらべてほぼ同じという結果となりましたが、国語・数学が全国平均・県平均とくらべてやや上回るという結果となりました。学校や向学館での取り組みにより学力の底上げが図られた成果と思われます。

学校活動だけでなく、より一層の家庭学習の定着、向学館事業等における学習サポート、町における教育環境の整備等、引き続き学校、家庭、地域、町が連携して、確かな学力と豊かな人間性を育んでいきます。